

令和4年度交通安全施設技術研修会

子どもを守ろうプロジェクト

子どもを守ろうプロジェクトの変遷と今後について

一般社団法人 愛知県道路標識・標示業協会

はじめに

子どもを守ろうプロジェクトとは

社会の財産である子どもたちを交通事故や犯罪及び災害から守ることを目的とし平成18年度より活動を開始しております。

交通事故、犯罪、災害の三つのテーマよりボランティア活動を提案をしてきました。

後にご紹介させていただきますがボランティアの内容についてはその時のタイムリーな社会情勢に合致した内容を選定して提案をまいりました。

昨今のコロナ禍により密を避けるため数年は中止しておりますがここ2,3年においては感染対策を図りまた必要人数も最低限にして活動を再開しております。

今後もなくならない交通事故、犯罪、災害

すべてを解決することは不可能ですが子供を守ろうプロジェクトを軸にして協会員全員でボランティアを提案し実践してまいります。

災害から子どもを守ろうプロジェクトの変遷

平成18年度 プロジェクト外の起ちあげと長久手町立北小学校での初の施工寄贈

平成26年度～平成30年度まで災害ボランティアを実施

令和元年度 ～令和2年度においては登下校防犯プランの国の施策に沿ったボランティア活動の実施

令和3年度 西尾市において交差点事故対策（歩行者防護用ボラード設置）ボランティア

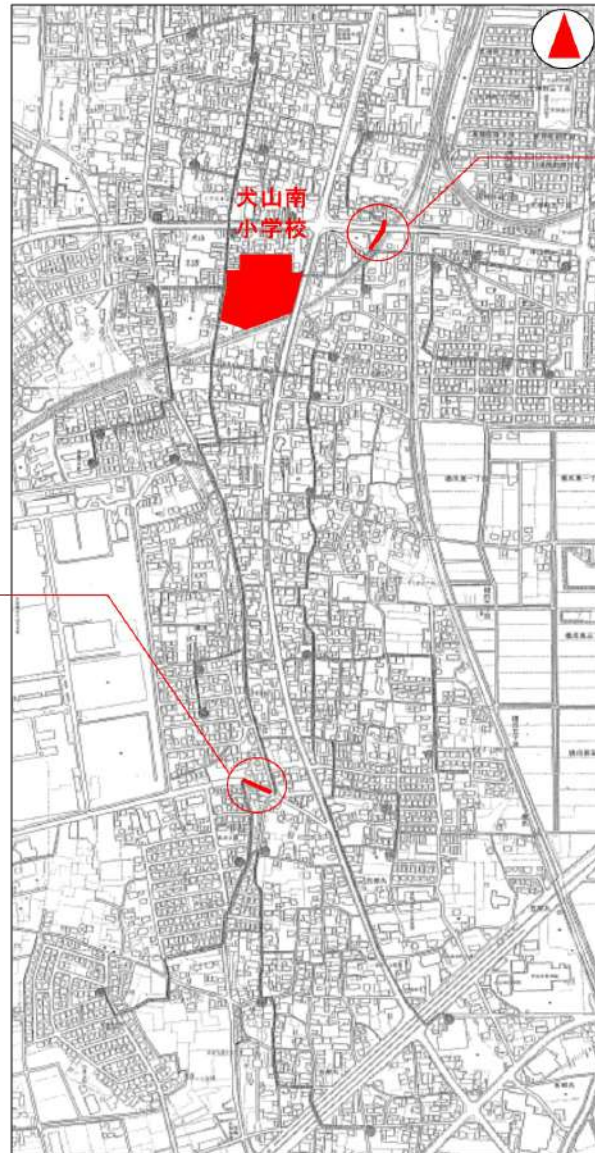
令和3年度 防犯紙芝居の贈呈

上記以外にも提案として“子どもとじいじ・ばあばを守ろうプロジェクト”として高齢者の特性に合った事故防止の提案を行いました。

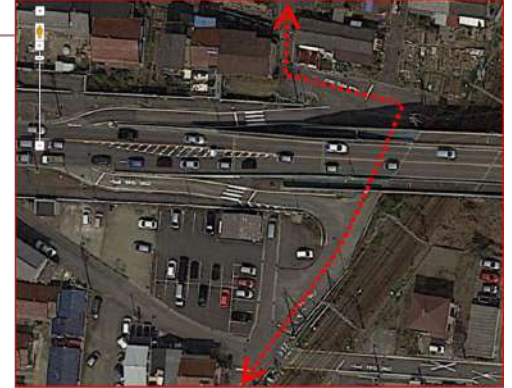
また全国展開した子どもを守ろうプロジェクトの情報交換を“子どもを守ろうプロジェクト全国大会”と題して長野、石川、静岡、群馬、兵庫、新潟、愛知、愛媛、広島、東京、鹿児島、山梨などで開催いたしました。

子どもを守ろうプロジェクトにおけるボランティア活動のご紹介（平成26年度）

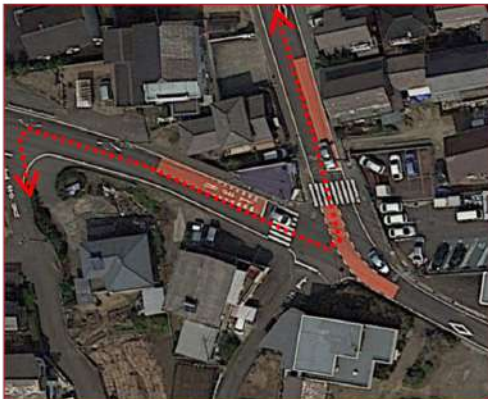
犬山南小学校 通学路対策



通学路対策(案)①



通学路対策(案)③



子どもを守ろうプロジェクトにおけるボランティア活動 のご紹介（平成26年度）

通学路対策(案)③



子どもを守ろうプロジェクトにおけるボランティア活動 のご紹介（平成25年度）

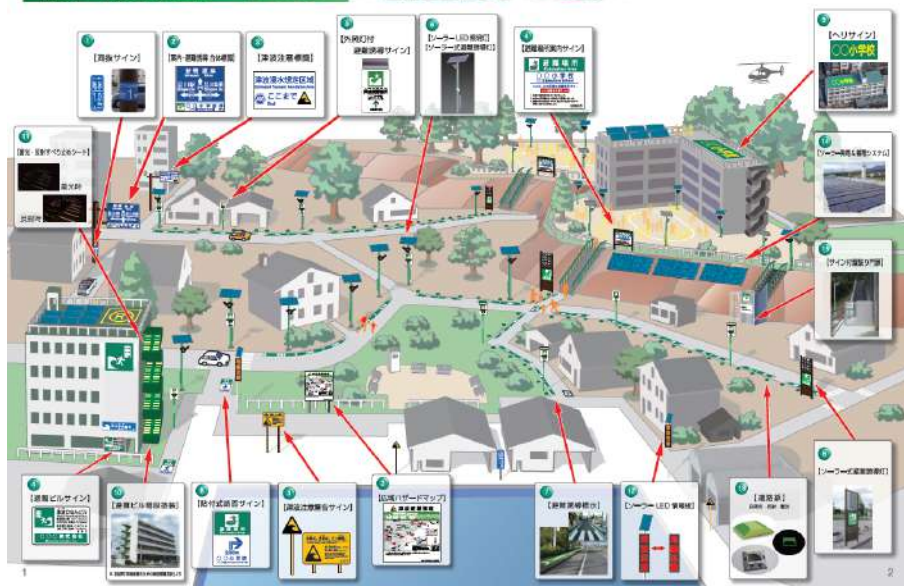
通学路対策 案③



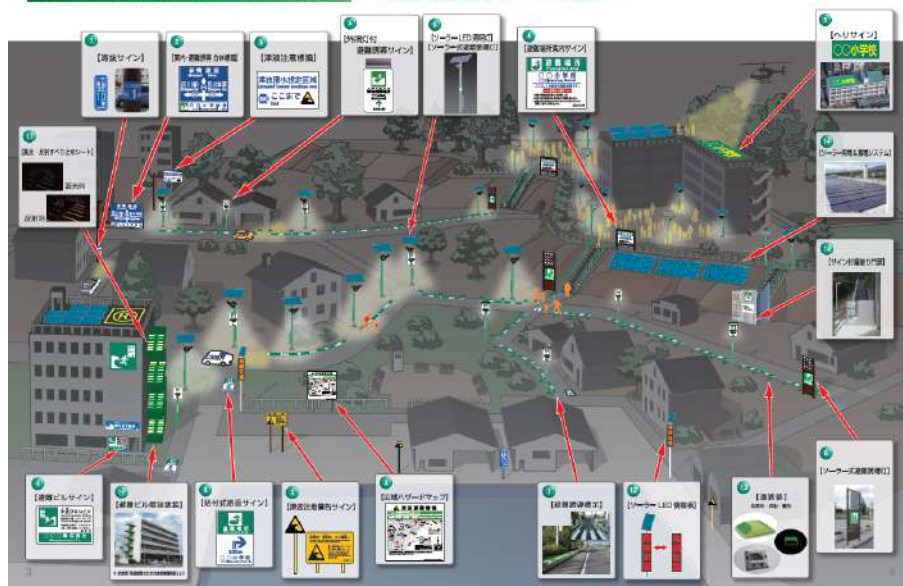
災害ボランティアの概要

近年、発生が懸念されている**南海トラフ巨大地震**。内閣府が発表した予測データでは**30年以内に70%の確率**で起こると言われています。この南海トラフ巨大地震による被害については、超広域にわたる巨大な津波、強い揺れに伴い、西日本を中心に、東日本大震災を超える甚大な人的・物的被害が発生し、我が国全体の国民生活・経済活動に極めて深刻な影響が生じる、まさに国難とも言える巨大災害になるものと想定されております。

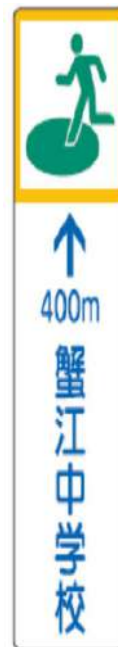
防災・減災対策イメージマップ ～避難路整備事業へのご提案～



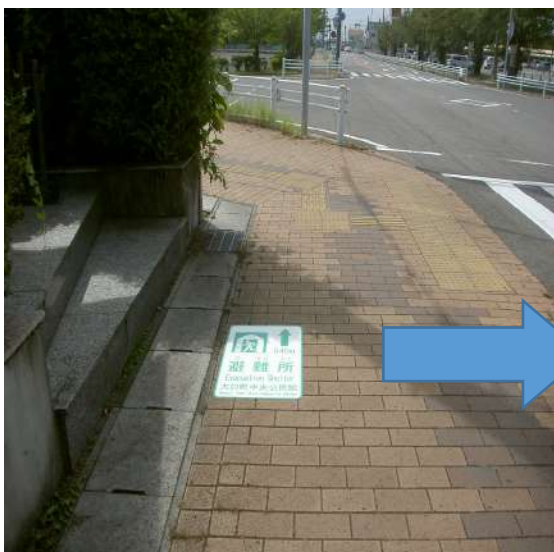
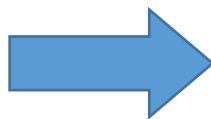
防災・減災対策イメージマップ ～避難路整備事業へのご提案～



平成26年度 蟹江町災害ボランティアの概要



平成28年度 大口町災害ボランティアの概要



子どもとじいじ・ばあばを守ろうプロジェクト

高齢者の事故形態についてのまとめ

今までの統計結果により高齢者の事故形態では
○単路で横断歩道以外を横断中の事故(死亡、重傷事故)
○信号交差点で横断歩道中の事故(重傷、軽傷事故)
が多発していることがわかる(図5参照)

また、別の分析結果では
単路で横断歩道以外を横断中の事故では**17時から19時台**に多く発生している。
信号交差点での横断歩道中の事故については**9時から11時台**に多く発生している。

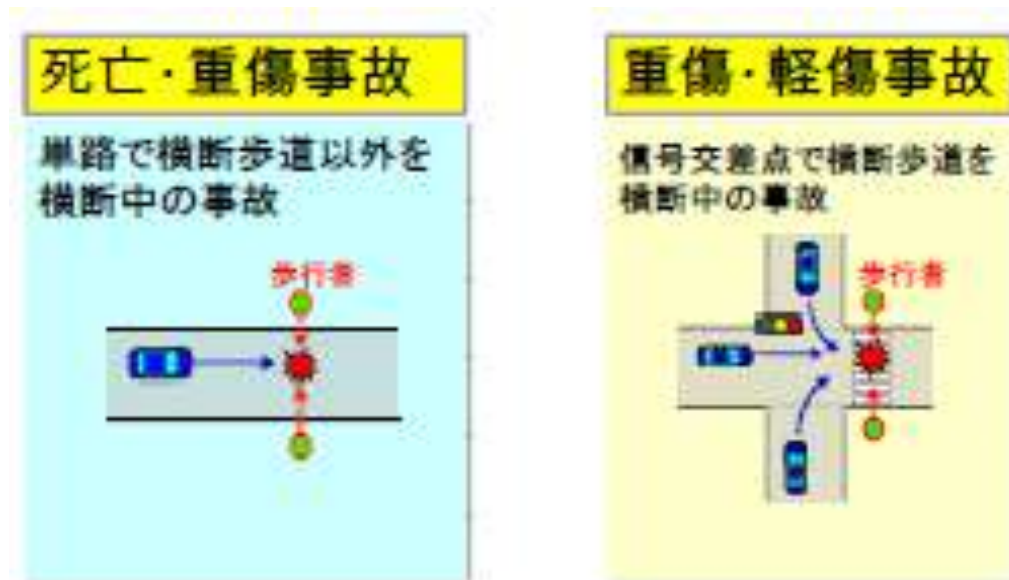


図5 高齢歩行者の多発事故形態

①単路部の歩行者横断事故防止対策

横断抑止柵コーンバーによる横断の抑制



道路横断に関しては確実に抑制することが出来るが設置するための道路構造及び幅員等が制限される。

①単路部の歩行者横断事故防止対策

標示板等による横断の抑制と車両の注意喚起



設置個所を出来るだけ多くして効果を高めていきたい。

③道路交通の夜間対策

横断歩道の明示化による誘導



横断歩道を照明により明示化して適切に誘導し、
事故抑止につなげる。

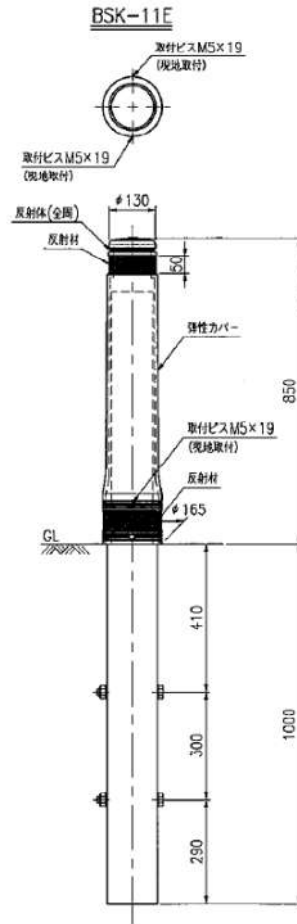
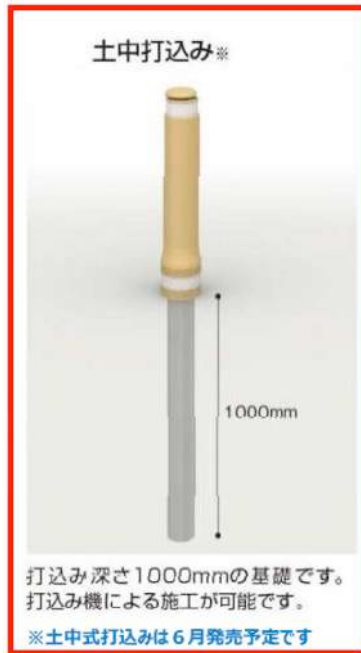
子どもを守ろうプロジェクトにおけるボランティア活動のご紹介（令和3年度）と背景

今回のボランティア活動については西尾市様のご協力を得まして交差点滞留部にいる児童たちを車両から守るためにプロテクトボードを設置し車両の進入を防止いたしました。



子どもを守ろうプロジェクトにおけるボランティア活動のご紹介（令和3年度）と背景

歩行者保護用ポラード（プロテクトポラード）の概要



カバーは弾性ゴムを使用しているため歩行者への衝撃は吸収されている。

子どもを守ろうプロジェクトにおけるボランティア活動 のご紹介（令和3年度）と背景

歩行者保護用ボラード（プロテクトボラード）の概要



子どもを守ろうプロジェクト今後の活動について

冒頭にも記載させていただきました通り無くなることのない交通事故、犯罪そして災害、今後も我々の技術でできることを提案し、少しでも被災者を減らしていく事が使命と考えています。

当協会の続く限りその時に見合ったボランティアを提案していきます。高齢者の運転誤操作による事故、台風がもたらすゲリラ豪雨、なくなる飲酒運転などなど危険がいっぱい潜んでいます。

今後の活動としては、やらなければいけないことが山積ですが、一つずつ活動をしていく事が今後の活動と考えております。

今後ご協力のほどよろしくお願いいたします。

ご清聴ありがとうございました

子どもを守ろうプロジェクト

一般社団法人 愛知県道路標識・標示業協会